宿舍改善に關する意見　自宅の近きと外來者少きとのため合宿者僅少にて尙充分收容の餘地あり且つ其都度設備を改善し來りたるを以て目下別に意見なし。

小口鑛場

一　敷地　宿舍を建築せる敷地の地形及周圍の關係左の如し。

寄宿舍　鑛夫寄宿舍敷地は約三百坪の平坦地にして建物の後方は松杉の繁茂せる高地、前方は田野にして開濶し日光及通風等の關係稍理想的と認む、附近には約五町にして小部落あり此周圍一帶は殆ど全部農業に從事し思想亦概して穩健着實なり。

第一號鑛夫社宅　敷地は約百坪の平坦地なり、後方は畑、前方は田にして日光通風等の關係良好、附近約五町にして小部落あり。

第二號鑛夫社宅　敷地は二戸建百三十坪の小高き所にして、後方前方共に雜木林、土地は乾燥し居るも通風日光の關係は良好ならず、該所を距る約五町に鑛泉場及小部落あり。

第三號鑛夫社宅　敷地は約五十坪にして平坦、縣道に近接し部落の中央にあり、然も閑靜にして衞生上良好なり。

第四號鑛夫社宅　敷地は約五十坪にして平坦、縣道に近接し日光通風等の關係良好、其周圍に人家散在す。

二　配置及總戸數　現在當場管理の下に鑛夫合宿所一棟、鑛夫住宅四棟あり而して合宿所は鑛場の入口に位置し住宅は鑛場内に散在す。

建家方向	建家棟數 一戸建	建家棟數 二戸建	建家棟數 計	總戸數
東南向	二	―	二	二
西北向	二	一	三	四
計	四	一	五	六

三　構造　概様左の如し。

	様式	屋根	天井	窓	建坪	室數	室面積	疊數	專用便所
合宿所	木造（一部二階建）	木羽葺	板張	硝子及障子 一、〇八〇平方尺	一〇五・二坪（延一四七・二坪）	九	五八坪	一一六枚	一・七坪
第二號社宅	木造平家	同	同	同 二四三平方尺	三五・七五坪	五	一七・五	三五	二・〇
第一號社宅	同	同	同	同 一三八平方尺	一九・四五坪	二	八・七五	一七・五	一・〇
第三號社宅	同	同	なし	同 一六二平方尺	二一・五〇坪	二	一〇	二〇	一・〇
第四號社宅	同	瓦葺	板張	同 一四七平方尺	二三・二五坪	三	一一・五	二三	一・五

附記　合宿所には食堂（一〇・五坪）、炊事場（九坪）、浴室（四・七五坪）、乾燥室、物置を設備す。社宅は第二號は二戸建にして其の他は何れも一戸建なり、又第二號社宅には浴室を附設せり。

四　給水設備　第四號社宅は井戸水を使用し、其の他の鑛夫社宅及合宿所は何れも河水を喞筒にて各炊事場に送水し二回濾過して之を用ふるものとす。

五　下水設備　各鑛夫社宅及合宿所の炊事場より汚水を鐵管により自然流通にて附近の灌漑用水に放流するものとす。

六　宿舍使用の狀況

(イ)　使用料　家賃、衛生費、入浴等無料なるも、電燈料は合宿所は無料なるも住宅は定額の二分の一を徵收す。

(ロ)　居住人員　總人員五十一名、一戶當人員は合宿所二十五名、住宅平均五人位(最大七名、最小二名)なり。

(ハ)　合宿所賄方法　炊夫二名を專屬せしめ、宿泊者中より選任したる炊事係及舍監を置き自治的の自炊とす。之が賄料一飯七錢五厘(十一月分)但し薪炭類は總て鑛山より之を給與す。

(ニ)　合宿所の寢具は各合宿者の所有にして之を專用し食器は鑛山の所有にして共用す。

(ホ)　糞尿は總て之を附近農業者に賣却汲取らしめ、掃除は舍監の指示に依り合宿者之を爲す。

(ヘ)　塵芥汚物の處理方法　前項に準す。

(ト)　宿舍疊替其他修理の狀況　疊の表替は新調後三年、裏返しは表替後一年半を經過したる後必要に應じ之を行ふ。

宿舍改善に關する意見

當所の狀況としては附近に借宅居住或は土着のものにして自宅より通勤するもの多く合宿所に宿泊するもの極めて少數なると、一面又數年來數多の改善を施したるを以つて現狀維持の見込なり。

東山鑛場

鑛夫宿舍總數左の如し。

(一)　浦瀨鑛夫合宿所

(二)　桂澤鑛夫合宿所

(三)　浦瀨鑛夫住宅

(四)　比禮鑛夫住宅

一　配置及總戶數

鑛夫合宿所

建家方向	建家、棟數 一戶建	建家、棟數 計	建家間距離 最大	建家間距離 最小	建家間距離 平均
東向	五	五	三〇間	六間	一八間
北向	一	一	—	—	—
西向	一	一	一〇間	五間	七間半
計	七	七	—	—	—

鑛夫住宅

建家方向	建家棟数 一戸建	二戸建	六戸建	計	總戸數	建家間距離 最大	最小	平均
東向	二	二	一	四	一〇戸	二間半	二間半	二間半
計	二	二	一	四	一〇戸	—	—	—

二　構造

(一)　浦瀨鑛夫合宿所　木造二階建鉞力葺、天井なし、窓は普通三尺障子戸二枚建、電燈設備あり、建坪百〇七坪(延坪數百八十八坪五合)。

(二)　桂澤鑛夫合宿所　木造二階建二棟及平家二棟、鉞力葺、天井は平家建に有るも二階建には天井なし。窓は普通三尺障子戸二枚建、電燈あり、建坪八十七坪(延坪數百〇七坪)。

(三)　浦瀨鑛夫住宅　木造二階建一棟及平家二棟あり、木羽葺、平家建は天井を有するも二階建には天井なし、窓は普通三尺障子戸二枚建、電燈あり、總建坪百十四坪二合五勺(總延坪數百五十坪二合五勺)。

(四)　比禮鑛夫住宅　木造平家木羽葺、天井有り、窓は三尺硝子戸二枚建、電燈あり、建坪二十五坪。

三　附屬建物

(イ)　共同便所　浦瀨鑛夫合宿所一箇所、使用人員五二人、桂澤鑛夫合宿所二箇所、使用人員二九人、浦瀨鑛夫住宅二箇所、使用戸數八戸。

(ロ)　共同浴場　浦瀨鑛夫合宿所には食堂及賄所と同一建物内に二間×三間を區劃し床はコンクリート張り木製角浴槽を設く、使用人員男鑛夫五二人。

桂澤鑛夫合宿所　食堂及賄所と同一建物内に二間×三間を區劃し床は板張り木製角浴槽を設く、使用人員男鑛夫四九人、燃料は兩所とも坑井より採收の天然瓦斯を引用す。

浦瀨鑛夫住宅　浴場一箇所角木槽にして燃料は薪を用ふ、男女交互入浴するものにして使用戸數八戸なり。

(ハ)　合宿所食堂　浦瀨鑛夫合宿所食堂は木造平家建、屋根鉞力葺、天井張りを爲し、床は板張とし中央に幅三尺長さ六尺の飯臺を必要に應じ四個或は五個及是れに相當する腰掛を配置し、各自向ひ合つて食事を爲す。

桂澤鑛夫合宿所　同斷。

四　給水設備

浦瀨鑛夫合宿所　二吋鐵管を用ひ自然流通とす。

桂澤鑛夫合宿所　地形の關係上一度自然流送にて木槽に受け、更に喞筒に依り給水す。

浦瀨鑛夫住宅　二吋鐵管を用ひ自然流通とす。

五　下水設備

賄所浴場の流し場及各建物雨落下に木樋を伏設し、自然流通にて附近の溪流に注がしめ木樋閉塞の場合は時々浚渫を爲す。

六　宿舍使用の状況

(イ) 使用料

鑛夫合宿所　使用料家賃なし建物修繕費電燈料入浴料等一切會社にて支辨す、又春秋二期の清潔法施行、石灰乳、片腦油等散布に因る經費等浦瀬、桂澤兩合宿所にて年額約六十圓を要するも會社にて支辨す。

鑛夫住宅　家賃なし建物の修繕は會社に於て支辨、電燈料及入浴料は各自負擔す、卽ち電燈料は十燭光一個に付一月六十錢、入浴料は一人一日に付金一錢八厘を要す。其の他衞生費として石灰乳散布其他消毒劑一戶當り年額約一圓五十錢を要するも會社にて支辨す。

(ロ) 居住人員　浦瀬桂澤兩合宿所にて百一人、鑛夫住宅十戶總人員三十六人、一戶當り人員は最大六人、最小二人、平均三人六分なり。

(ハ) 合宿所賄方法　共同自炊にして平均一食七錢七厘なり、但し炊夫給料、薪炭、油、炊事用品等は會社にて支給す。

(ニ) 合宿所寢具及食器の管理　寢具は各自所有とし食器は總て會社にて供給す。

(ホ) 糞尿汲取及便所掃除の方法　糞尿汲取は二箇月一回位にて會社にて汲取り宿舍炊事用蔬菜の耕作肥料に供す。便所掃除は居住者順番に掃除を爲す。

(ヘ) 塵芥汚物處理の方法　塵芥汚物は一定の場所に集め一箇月一回燒却す。

(ト) 宿舍疊表替其他修理の狀況　宿舍の疊表取替は三箇年後、裏返しは一箇年半後必要に應じ取替を爲し經費は總て會社支辨とす。

七　其の他　合宿所に於ては各室收容人員中より室長一名を選擧し各室長より更に舍監一名副舍監一名を互選し風紀、衞生、食料勘定、事務所との打合、其他宿舍萬般に關する庶務に從事す、任期は各一箇年無報酬とす。

宿舍改善に關する意見

鑛夫合宿所天井張をなすこと、窓障子戶を硝子戶に更へ渡し。

大面鑛場

一　敷地　鑛夫社宅及大面合宿所は山麓の平地に、本庄寺及庄川合宿所は山中に建築せり。

二　配置及總戶數　鑛夫社宅左の如し。

建家方向	建家棟數 二戶建	建家棟數 三戶建	建家棟數 計	總戶數	建家間距離 最大	建家間距離 最小	建家間距離 平均
南向	—	二	二	六	三間	三間	三間
東向	二	—	二	四	四間	四間	四間
計	二	二	四	一〇	—	—	—

合宿所は大面一棟(一一室)、本成寺一棟(四室)、庄川一棟(四室)とす。

三　構造

(イ) 鑛夫社宅　木造平家建(三棟)又は二階建(一棟)なり、平家建は建坪一戶當十三坪又は十三坪七合五勺にして一戶當六疊、四・五疊及三疊の三室よりなり、二階建は建坪一戶當十坪二合五勺延十七

坪七合五勺にして一戸六疊及三疊各二室計四室よりなる。何れも各戸專用の玄關勝手及大小便所を附設す。屋根は悉く木羽葺にして窓は硝子障子若は障子及雨戸を設く。

(ロ) 合宿所　大面合宿所は木造木羽葺平家建にして建坪百八十八坪あり、合宿室は三一・五疊一室、二四・五疊二室、二〇疊二室、一九・五疊及一七・五疊各一室及一〇疊四室合計十一室にして他に病室及應接室各一室竝に便所及洗面所を附す。庄川合宿所及本成寺合宿所は何れも事務所と同一建家内に在りて何れも木羽葺木造二階建とし建坪は庄川四六・七五坪(延六四・二五坪)、本成寺三三坪(延四八坪)あり、合宿室は庄川八疊四室、本成寺十四疊一室、十疊二室、四・五疊一室計四室にして何れも食堂、炊事場及便所を附設し且つ本成寺は建物の一部に浴室を設く、但し大面には合併食堂を別に設置せり。

四　附屬建物

(イ) 共同便所　なし。

(ロ) 共同浴場　二棟あり、男子浴場一棟(十五坪)は合宿所及社宅居住者に使用せしめ、女子浴場一棟(七坪)は社宅居住者の使用に供す。

(ハ) 合併食堂　木造木羽葺平家建にして建坪四十二坪、炊事場及食堂に區分し食堂は二十八坪ありコンクリート床にて八人向ひ机十二脚を備付く。

五　給水設備

(イ) 井戸なし。

(ロ) 水道　山中より湧き出る清水をコンクリート貯水池に溜め鐵管にて濾過槽に導き濾したる水を鐵管にて各所及各宿舍に給水し使用す。

六　下水設備　各所より鐵管或は木製樋にて近くの小川に排水せり。

七　宿舍使用の狀況

(イ) 使用料　電燈料一〇燭光三〇錢、一六燭光三五錢、三二燭光五〇錢を徴收する外家賃衞生費入浴料等なし。

(ロ) 居住人員

種別	總人員	一戸又は一室當り人員			附記
		最大	最小	平均	
社宅	五七	八	四	六	一戸當人員を示す
合宿所	一三二	一六	三	七	一室當人員を示す

(ハ) 合宿所賄方法　共同自炊にして一飯十錢以內但し設備、燃料、炊事夫は會社にて給與す。

(ニ) 合宿所の寢具及食器の管理　寢具は各人所有、食器は會社の所有なり。

(ホ) 糞尿汲取及便所掃除の方法　糞尿は農家に汲取方を依賴す、便所は月二回位石油乳劑及石灰にて消毒せり。

(ヘ) 塵芥汚物處理の方法　大型塵箱を備へ置き、時々此等塵芥は空地に埋めしむ。

(ト) 宿舍疊替其の他修理の狀況　表替は新調後三年、裏返しは表替後一年六箇月とす。

宿舍改善に關する意見

現在の所相當設備あるを以て改善の必要を認めず。

新潟製油所

一 敷地及構造　鑛夫宿舍としては鑛夫合宿所三棟を設く、何れも新潟市内に存し概要左の如し。

第一合宿所　木造一部二階建、亞鉛平板葺、建坪四八坪(延六四・二五坪)居寢室天井總板張、合宿室十室(最大八疊、最小四疊)總室面積三一・二五坪、總疊數六二・五枚、各室に窓(引違ひ階上八間、階下十三間)及押入を附し電燈を配置す。附屬設備として食堂一室(床板張)、炊事室(土間)便所(大便所二、小便所一)及び物置二箇所あり。

第二合宿所　平家建二棟よりなり、一棟は瓦葺他は亞鉛平板葺なり。建坪は三〇坪及二〇・五坪、居寢室天井は總板張とし引戸窓(計一九・五間)を有す、合宿室數七(最大八疊、最小四・五疊)室面積二二・二五坪總疊數四四・五枚にして各室に押入及電燈の設あり、附屬設備として食堂(床板張)玄關(二疊敷)及便所二箇所(大便所二、小便所二)を有す。

建家配置は第一合宿所東北向第二合宿所東北向及西南向にして建家間距離は最小一間、最大五間なり。

二 給水設備　井戸は水質不良にして飲料水に適せず、新潟市設水道により共同栓の給水を受く。

三 下水設備　下水溝は開渠式木製とし配水上必要箇所に配置し隨時掃除をなさしむ。

四 使用狀況　使用料、電燈料等合宿者より徴收することなし。居住者總計三十人にして室面積一坪當最大〇・七人、最小〇・五人、平均〇・五八なり。合宿所賄は直營とし實費を徴收す。寢具は合宿者の所有品を使用せしめ食器は必要に應じ合宿所に於て設備す。糞尿及塵芥は市役所に於て汲取又は處理を爲し、便所掃除は炊事夫又は人夫をして爲さしむ。合宿室の疊替は新調後三年毎に之を行ひ、一年半を經過したる後は必要に應じ裏返しを爲す。

松尾鑛山

一 敷地　地形は一般に南向傾斜地にして附近に樹木なく日光の射入充分なり、風向きは北西よりするもの多し。地質は乾濕適度なり、衞生狀態に影響ありと認むべき周圍の狀況としては製煉灰上げ時に於て多少の粉塵を被るを見る。戸外照明設備として街路には各電柱毎に十六燭光の電燈を點じ街路照明とす。

二 配置

(イ) 建物配列の方向　建物は總て長屋建なるを以て出來得る限り風向きと並行に建築す。

(ロ) 建物間の距離及一戸當空地面積　最少五坪内外、最大は直ちに原野に接續す。

(ハ) 棟數及戸數　棟數五十一棟、戸數三百七十九戸。

三 構造　標準住宅は一棟八三・六六坪、八戸建にして半戸建は一棟六六・六六坪、八戸建とす。屋根は野地板張フエルト敷亞鉛引鐵板葺にして雨樋なし、床板根太の高さ一尺二寸とす。一戸の室數は二室

又は一室にして面積標準住宅は居室六疊及四疊の二室、半戸建住宅は八疊一室にして何づれも別に玄關及勝手を附設す。天井は高さ約八尺棹緣天井なり、敷物は疊、壁張厚さ三寸なり。夜間室內と外部との遮斷裝置は外部一分厚硝子戶、內部腰板張紙障子を用ふ。窓の數は引違ひ硝子戶（四尺×三尺）一個所にして採光通氣完全なり、押入は標準住宅一間半、半戶建一間にして各戶に石爐を設く、冬期は煙突取付け暖爐を取付く。室內照明設備は電燈にして一戶當十六燭一燈乃至二燈としコードの長さ六尺にして笠あり。使用料金は十六燭一箇月金五十錢、二十四燭六十錢とし負擔は鑛夫なり。臺所は居室の奥に設く、標準住宅一坪半、半戶建一坪にして四枚入硝子戶二枚、板敷流し及棚を設く。專用便所の設けなし。

鷄兎其他家畜飼養の狀況　鷄、兎を飼養するものあり。其の他豚を飼養する者あり、衞生狀態に及ぼす影響良好とは云ひ難し。

四　附屬建物

（イ）　共同便所　各長屋の端に設く、棟數五十一あり。木造平家建亞鉛引鐵板葺、糞尿壺數は一棟に付大便五及小便一個、手洗の設備は各戶に設く、照明は電燈、消毒は解雪後每日行ふ、宿舍との連絡は冬期に於て防雪廊下を設く。使用の戶數三百七十九戶、人數二、二〇七人。

（ロ）　共同浴場　住宅地域を三分し其中心地に各一棟宛を設け合計三棟あり。木造平家建亞鉛鐵板葺、一棟の建坪三十坪、浴槽は高二尺二寸五分、幅四尺、長九尺のもの二個宛とし、一浴槽當洗場の面積四坪、照明設備として一棟十六燭電燈六個を備ふ。新湯補充の設備としてはボイラにて沸かしパイプにて浴槽に連絡し新湯を補充す、其の使用量一日に一石三斗なり。上り湯設備なきも冷水供給は水道設備あり（使用量無限）、開放午後三時より翌朝五時迄とす。使用者は三百七十九戶、人數二、二〇七人なり。

（ハ）　合宿所の食堂　合宿所居室と同棟內の南端に設く面積四坪なり。天井の高さ八尺にして大卓子一個、長椅子四脚、ストーブ及手洗設備あり、照明は電燈とし、三方に窓を設くるを以て採光及通風良好なり。收容人員四十人なり。

（ニ）　合宿所の賄所　食堂に隣接し北側にあり面積十坪五合、天井の高さ其の他食堂と同じ、備付品は炊事竈を設備す。

（ホ）　娛樂場　面積十五坪の俱樂部を設け碁將棋其他圖書、新聞雜誌等を備付く。尙別に屋內運動施設としてピンポン、柔劍術用具等あり、屋外には庭球、野球、スキー等の用具を設備す。

（ヘ）　物干場　合宿所の南方空地を利用して物干場を設け洗濯物又は寢具等の日光消毒をなす。

五　給水設備　井戶の設備なく簡易水道により給水す。鑛山西方赤川上流一、〇〇〇間の溪谷を流るゝ水を引水す水質良好にして濾過消毒の設備なきも汚損の憂なし、三吋鐵管にて引水して水槽に貯水せしむ。水量は季節により變化するも平均三個、水壓三〇封度なり。鑛夫宿舍用水栓數四〇個、使用戶數三百七十九戶、人數二、二〇七人なり。尙洗濯用水（消防用を兼ぬ）として赤川を引水す水量三個あり。

六　下水設備　各鑛夫住宅大通りに幅二尺、深一尺、傾斜五十分の一の汚水路を設く、排水完全に行は

る。

七　宿舍使用の狀態

（イ）使用料　電燈料を徴收する外家賃、室代、入浴料等一切無料なり。

（ロ）居住人員　男一、二二一人、女九八六人、計二、二〇七人にして内十三歳以下の小人七五〇人なり。一戶當人員平均五・八人、一坪當人員〇・七三人、一戶當十三歳以下の兒童數は最大五人平均一・九人なり。

（ハ）合宿所賄方法　請負制度にして賄料一日金五十五錢、三食の標準的獻立は朝食味噌汁及漬物。晝食味噌汁、漬物及肴。夕食味噌汁、漬物及煮付とす。

（ニ）合宿所の寢具及食器　寢具は專用にして食器は共用す、食器は特に消毒せざるも完全に洗滌す。一人當り寢具の配供は平常は着布團、敷布團各一枚宛なるも極寒期は着布團一枚を增す、其の使用料は着布團一夜四錢、敷布團三錢にして鑛夫負擔とす。

（ホ）糞尿汲取及便所掃除の方法　汲取人五人あり汲取回數月二回とす、汲取糞尿は一定の個所に糞壺を設け堆積するも一部農村の希望により賣却す。便所掃除は汲取人にて行ふ、夏期は消毒防臭施設として石灰及石油乳劑を每月一回撒布す。

（ヘ）塵芥汚物處理狀態　塵芥箱は高一尺五寸、長三尺、幅二尺の箱を要所に配置す、其の個數三十個あり。尙住宅を離れたる一定の箇所に塵芥捨場を設置し掃除人をして常に塵芥箱の汚物を塵芥捨場に運搬せしめ堆積するときは時々燒棄す。

（ト）疊替其他宿舍修理の狀況　疊替は每年一回之を行ふ但し新表は隔年に補給す、負擔者は總て會社とす。其の他宿舍の修理及保全は常備に大工職其の他營繕夫計十九人を置き損所の大小に拘らず直に修理す、負擔は總て會社なり。宿舍耐久見込年數は十五年乃至二十年なり。

改善意見

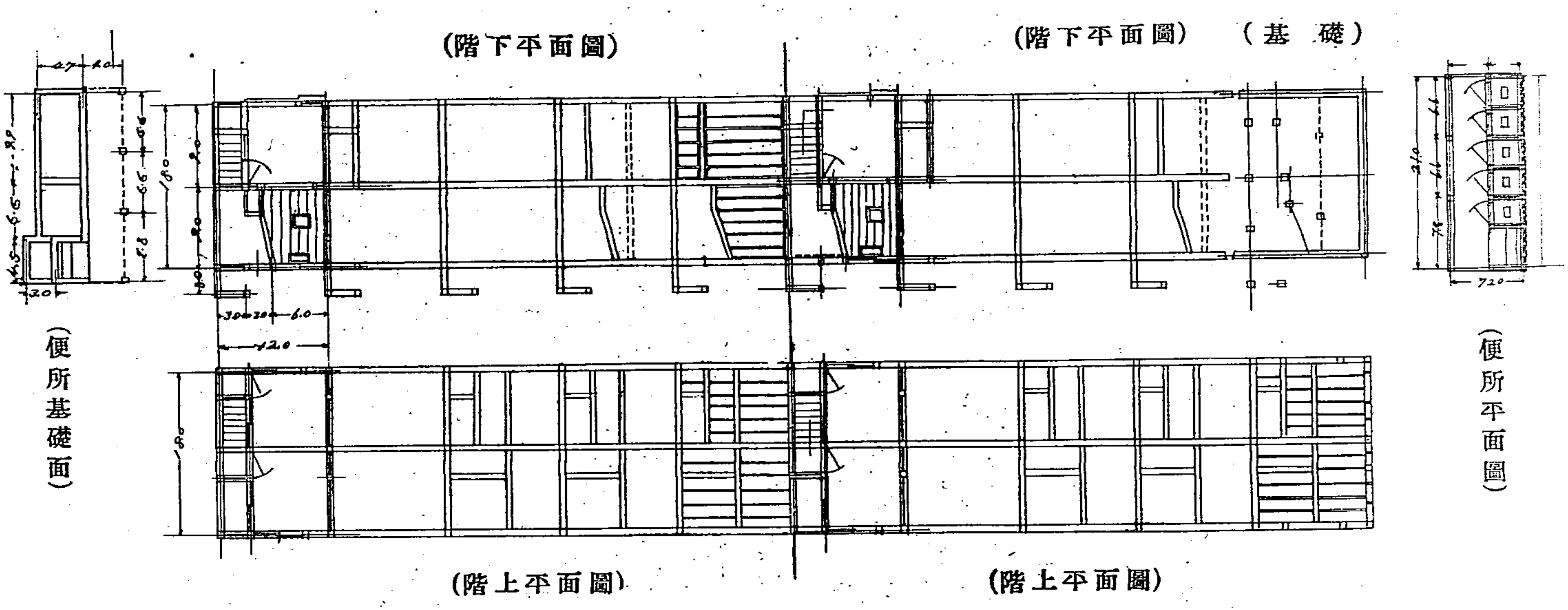
當山の如き海拔三千尺寒氣凛烈にして積雪多き山には鐵筋コンクリート建ビルディング式の住宅を建設し起居炊事暖房一切を集約せしむること最も宜しと考ふ。

附圖

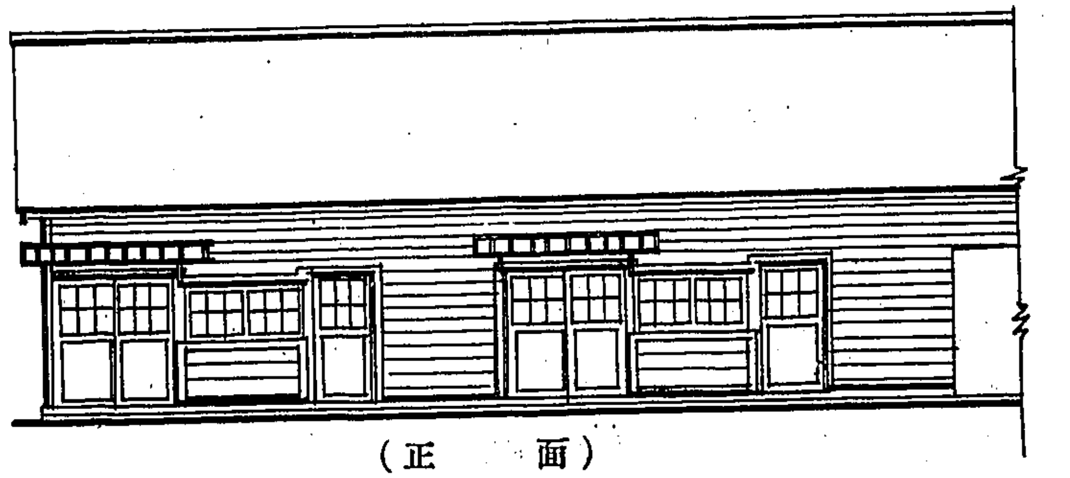
一、鑛夫社宅

夕張炭礦貳階建標準型鑛夫社宅(十戶建)

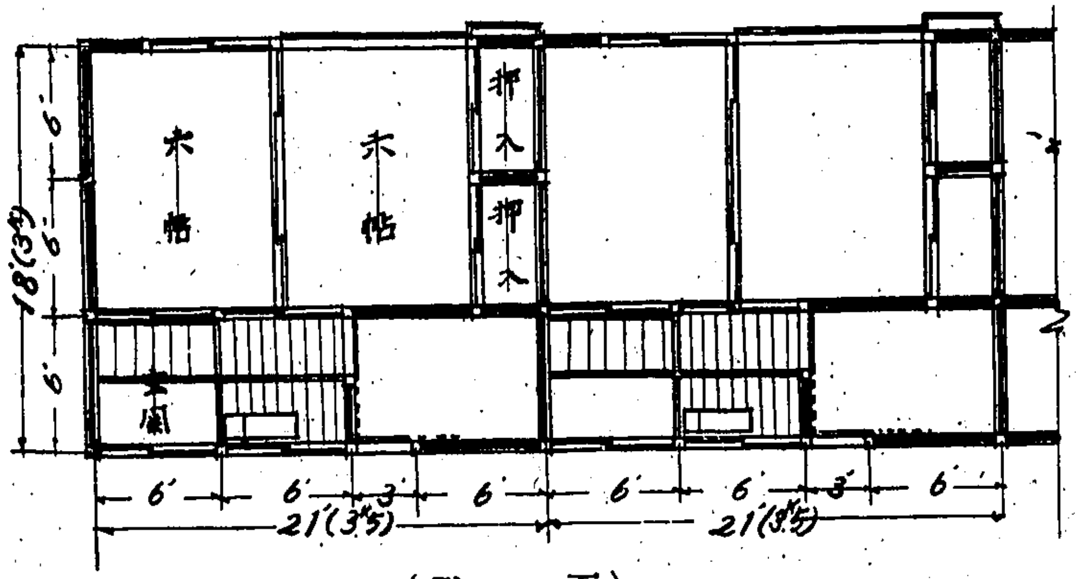
(A) 木造二階建　　(B) 鐵網コンクリート二階建



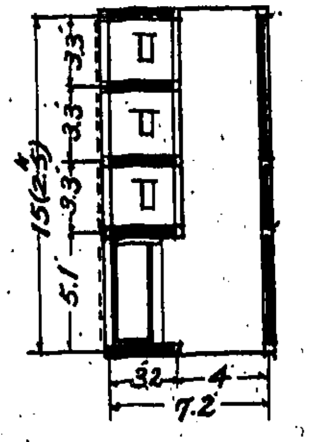
夕張炭礦平家標準型鑛夫社宅(六戸建)



(正　　面)

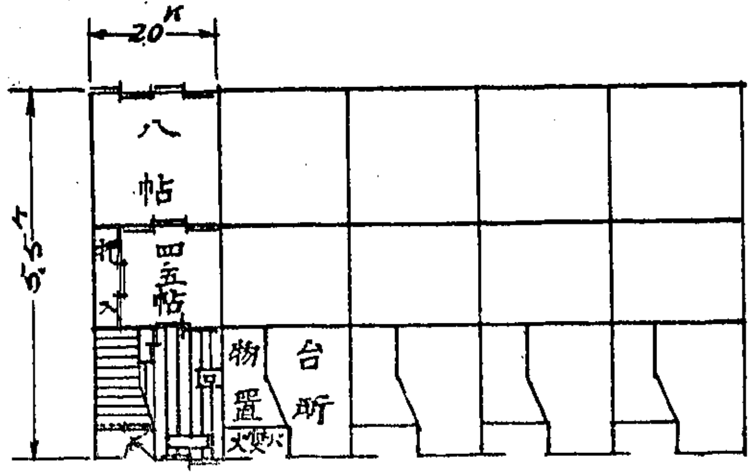


(平　　面)

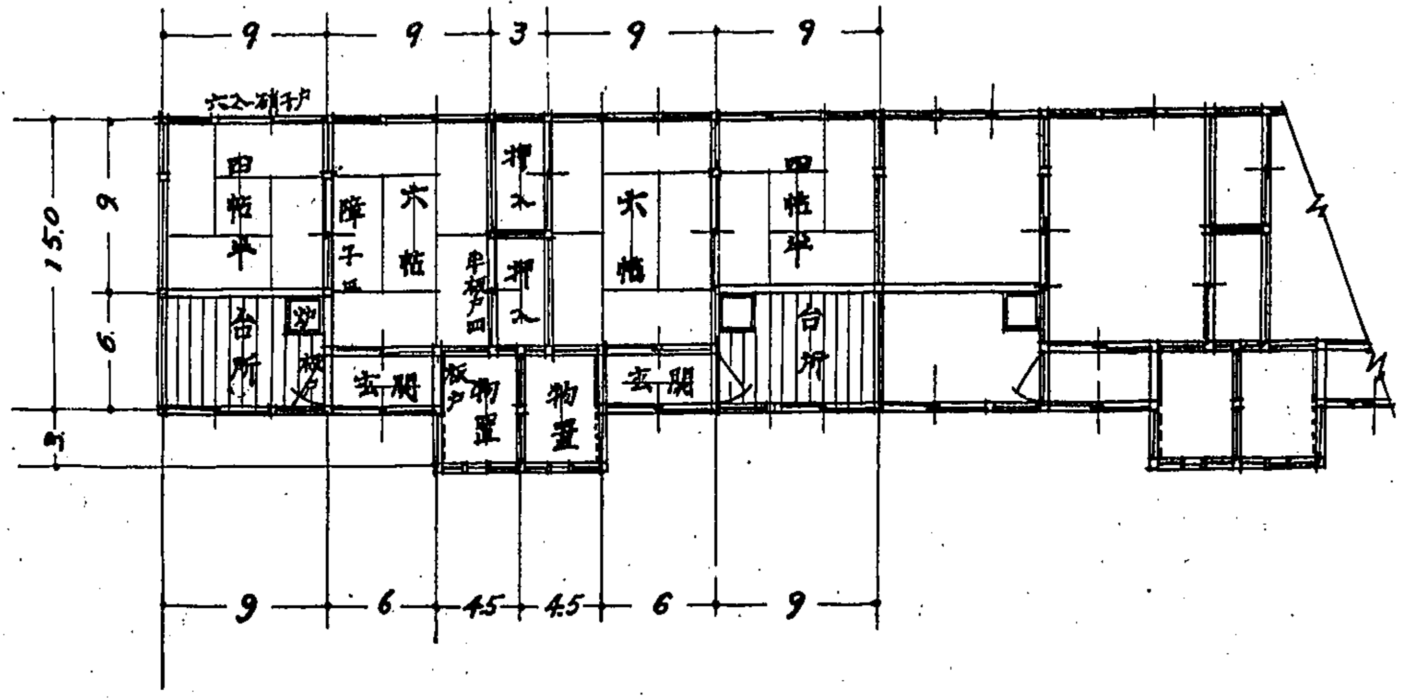


(便所平面圖)

夕張炭礦棟割改造型鑛夫社宅(五戸建)

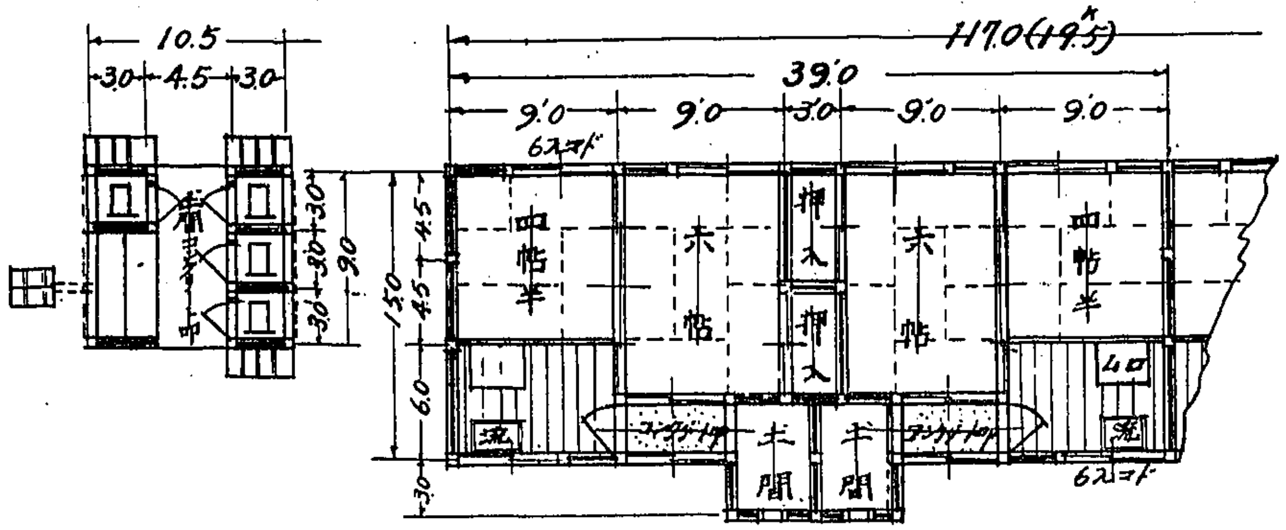


大夕張炭礦二股鑛夫社宅(八戸建)



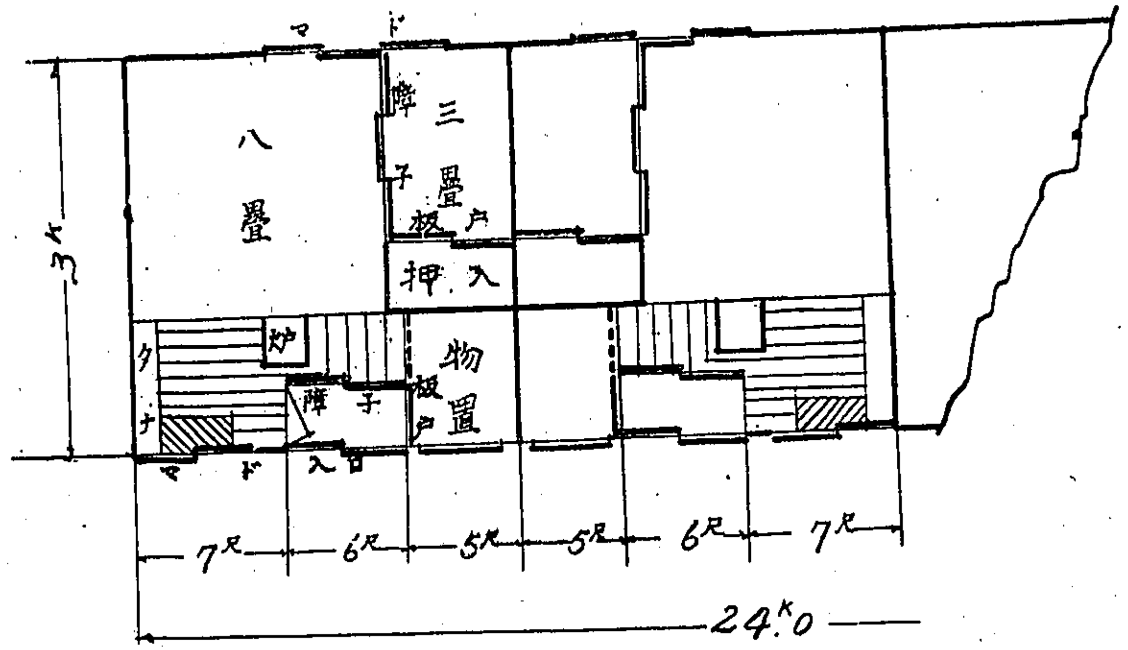
三菱美唄炭礦鑛夫社宅(六戸建)

建坪本家一五坪　便所二·六二五坪

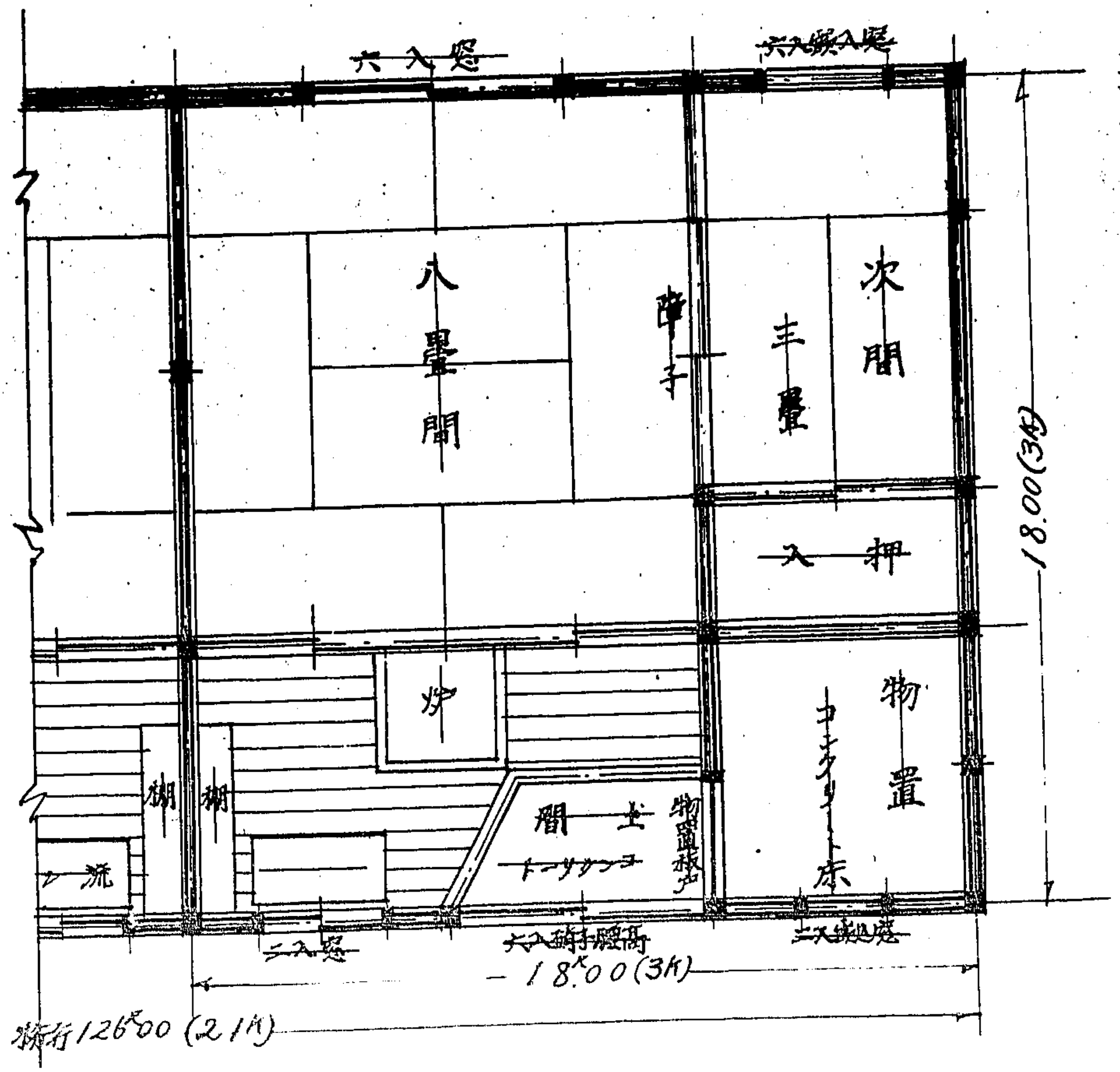


三井砂川炭礦鑛夫社宅

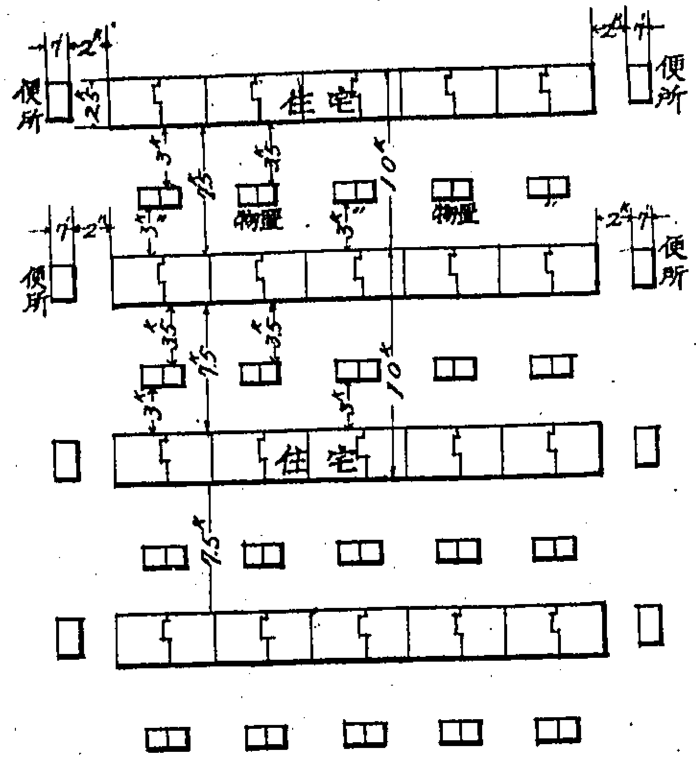
八戸一棟建坪七十二坪



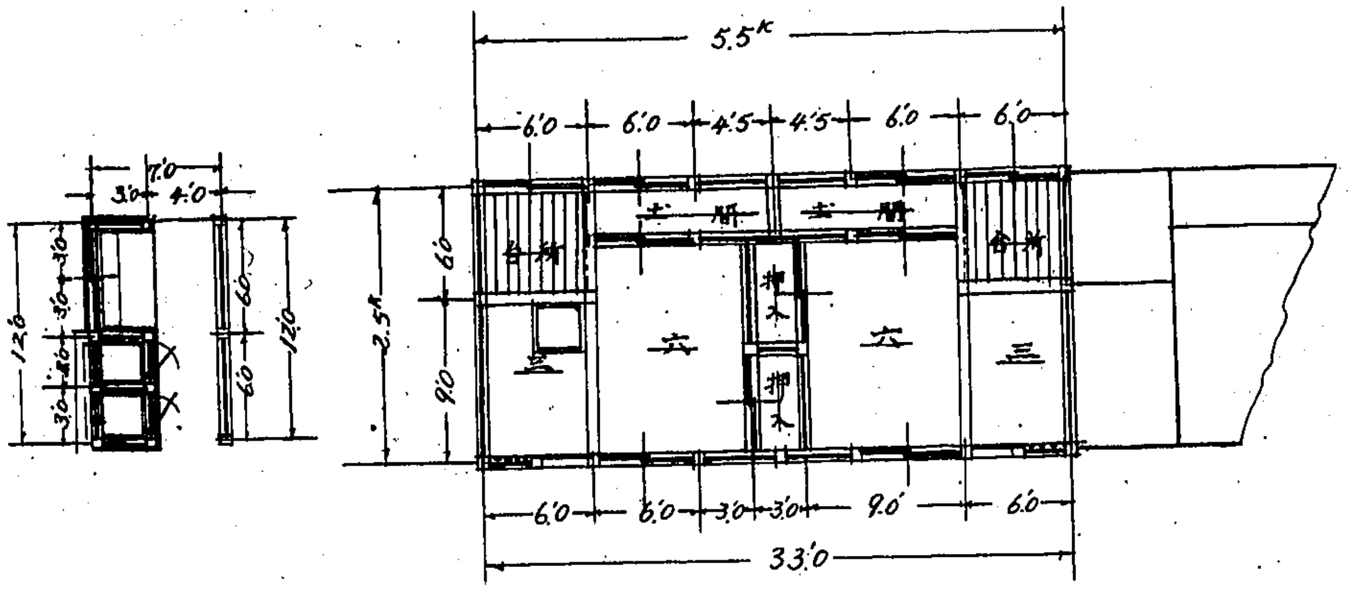
上歌志内炭礦鑛夫社宅（六戸建）



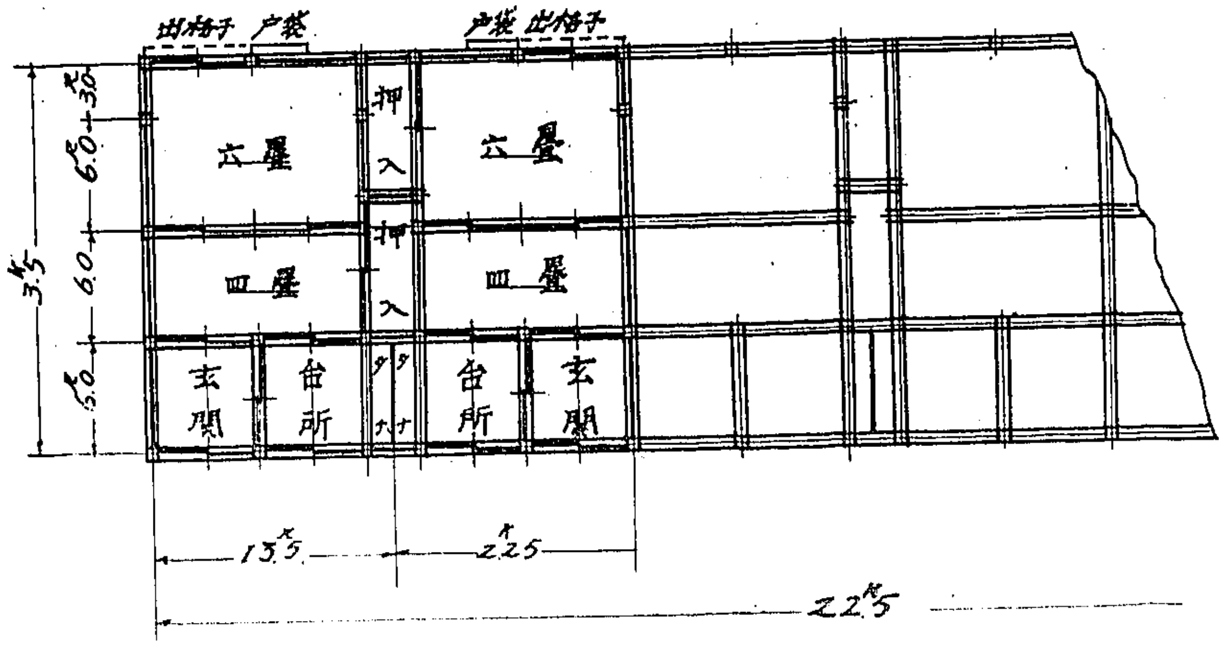
茂尻炭礦鑛夫社宅（配置圖）

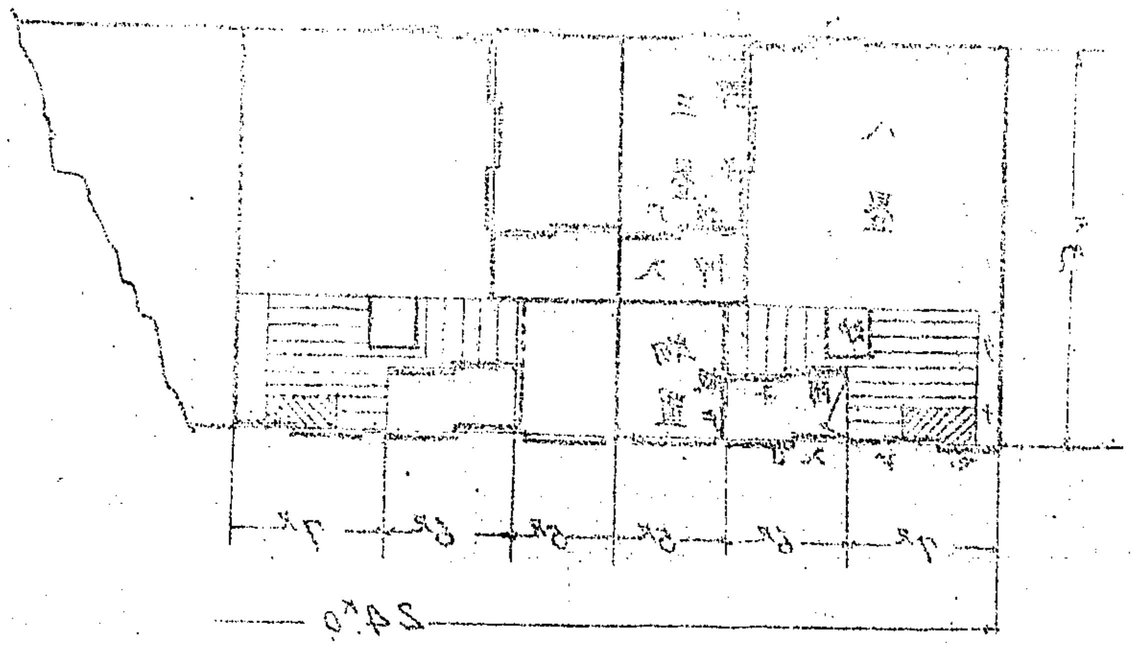


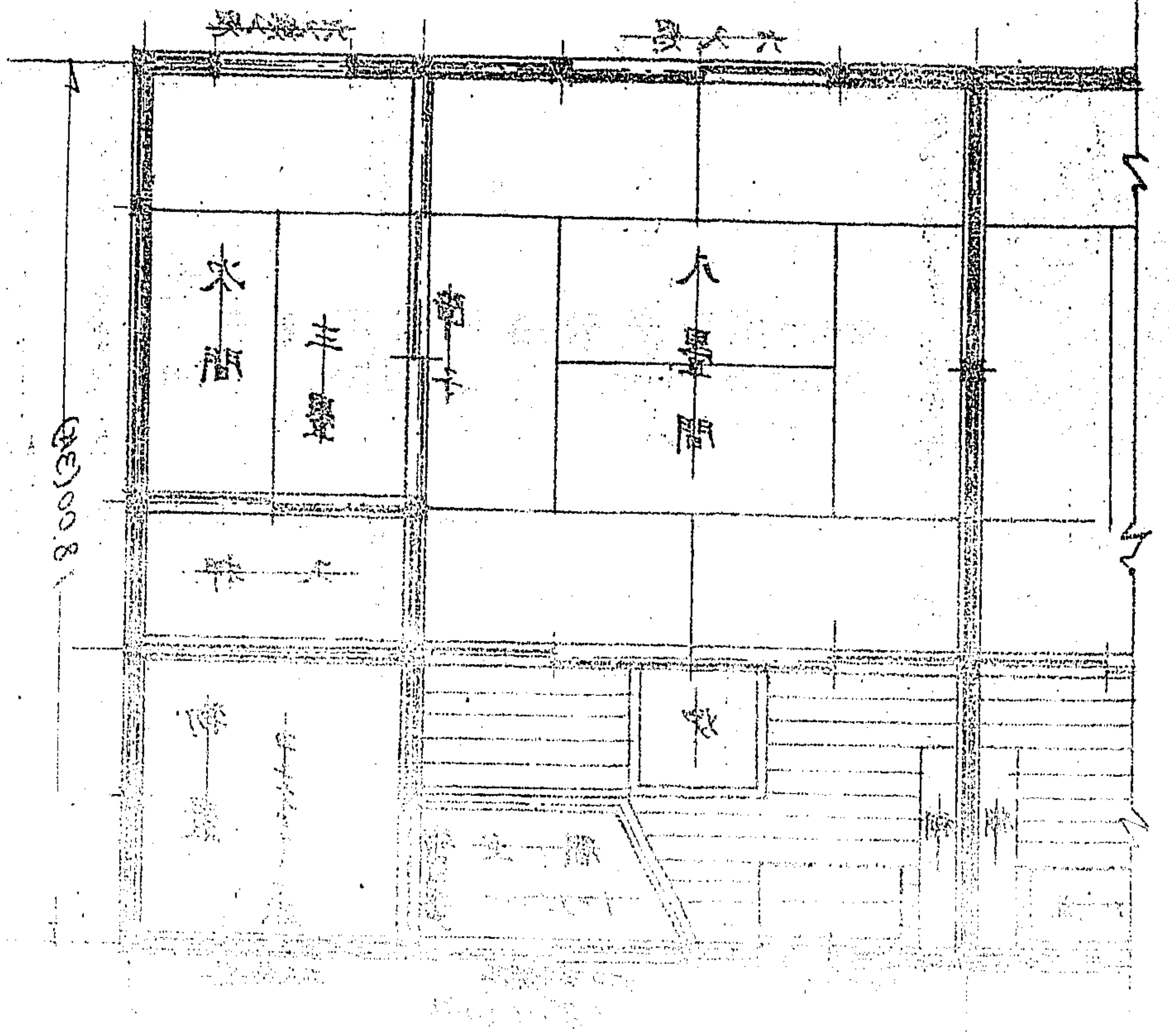
茂尻鑛夫社宅（十戸建）



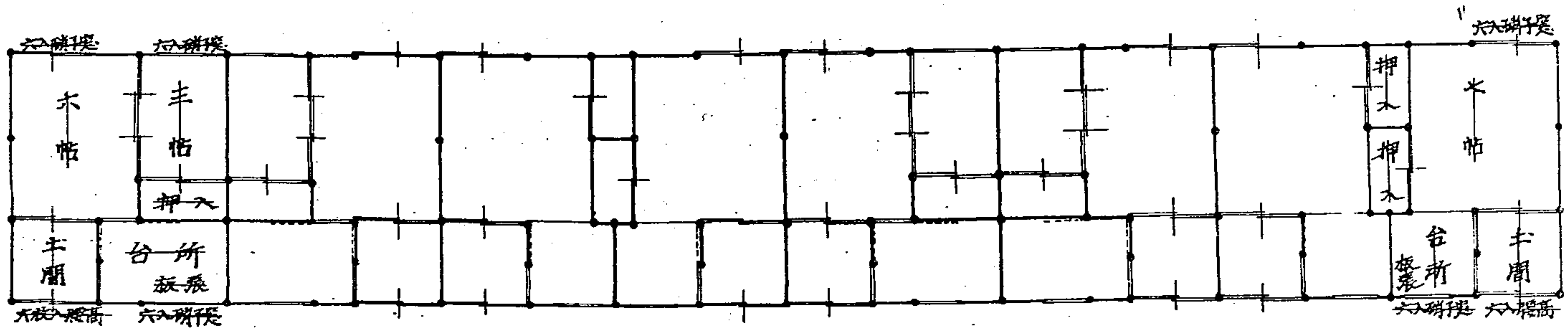
奔別炭礦銀夫社宅（十戸建）



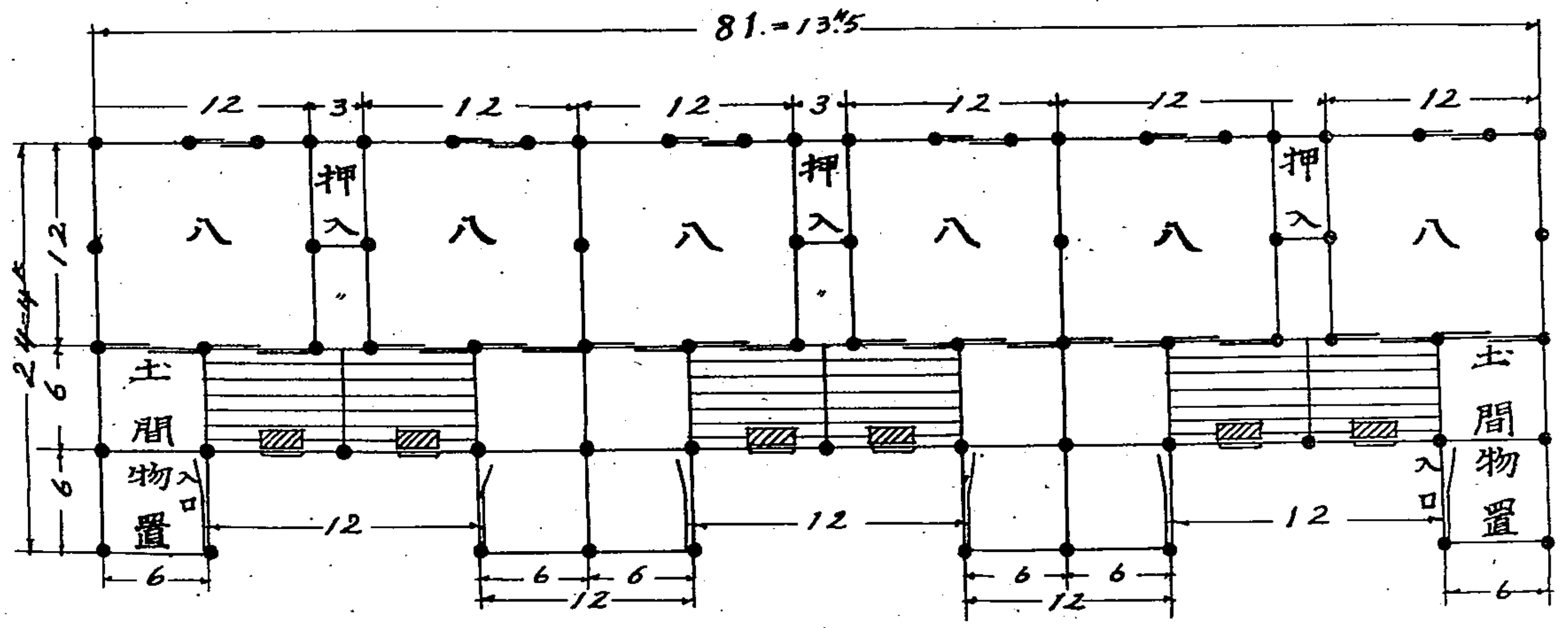


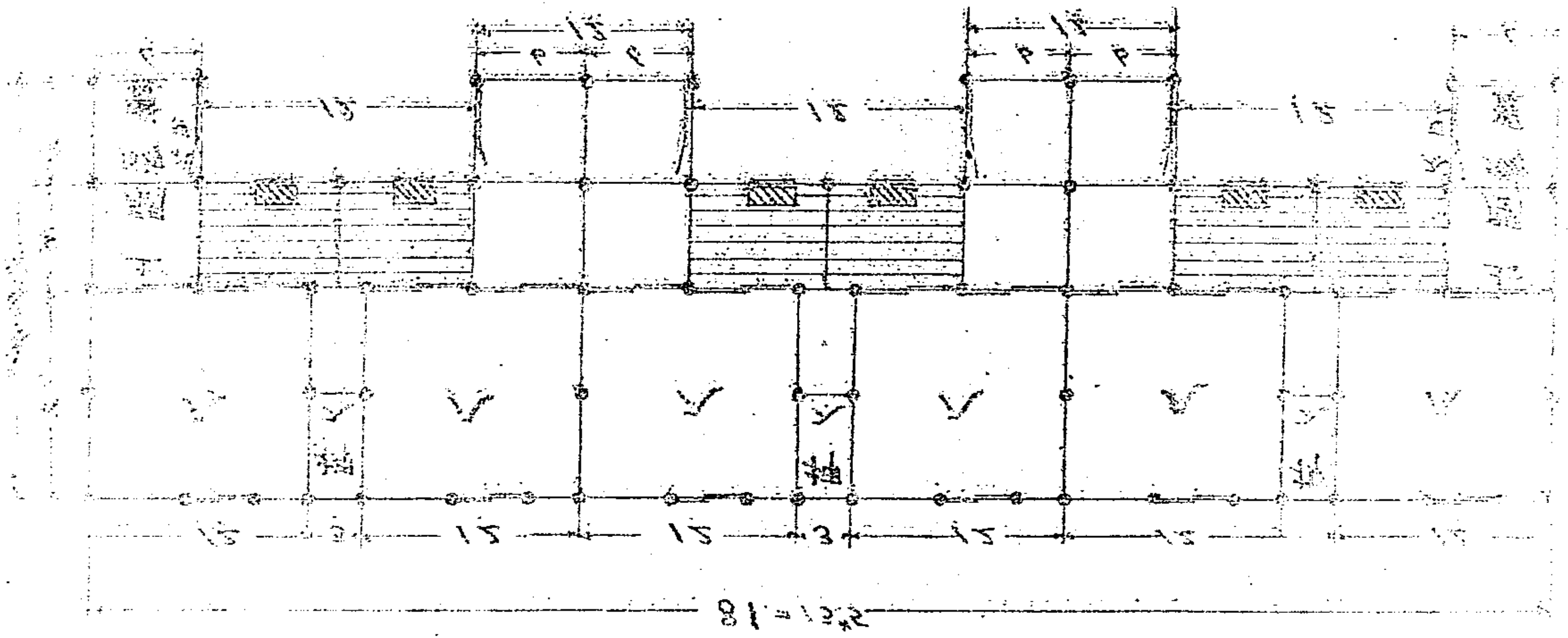


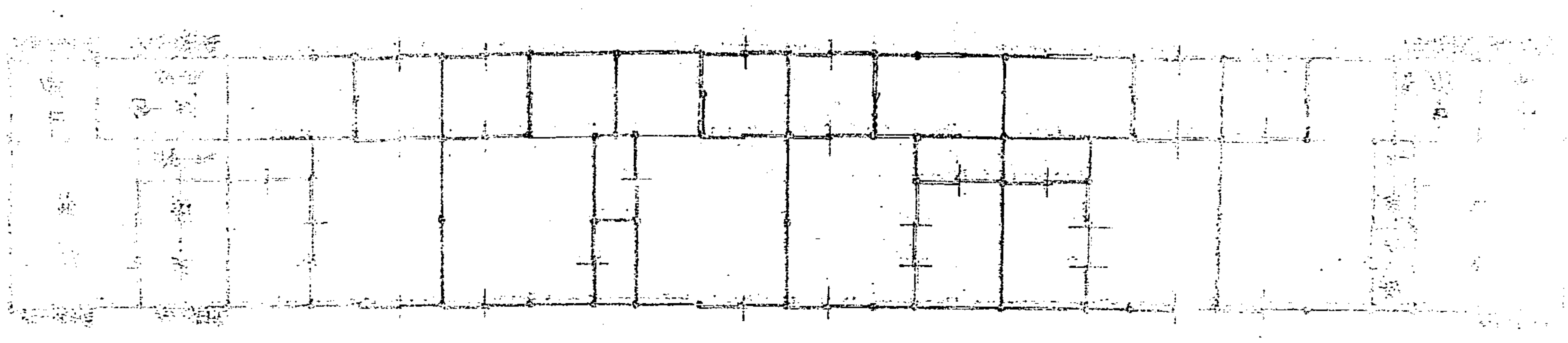
雄別炭礦鑛夫社宅(八戸建)　(建坪五十四坪)



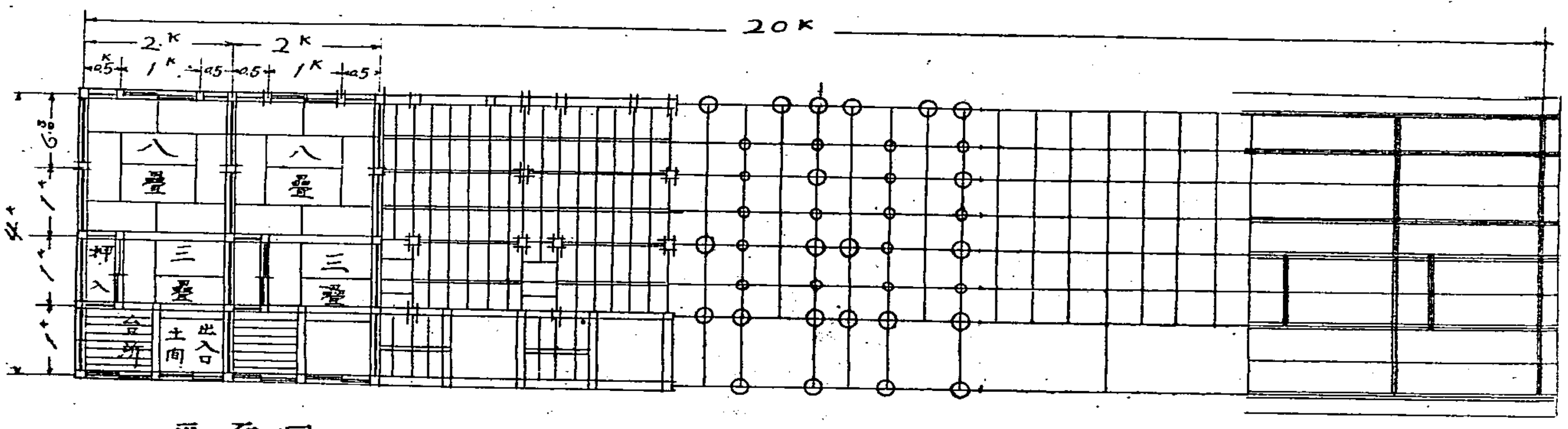
春採炭礦鑛夫社宅(六戸建)　(建坪四十六・五坪)

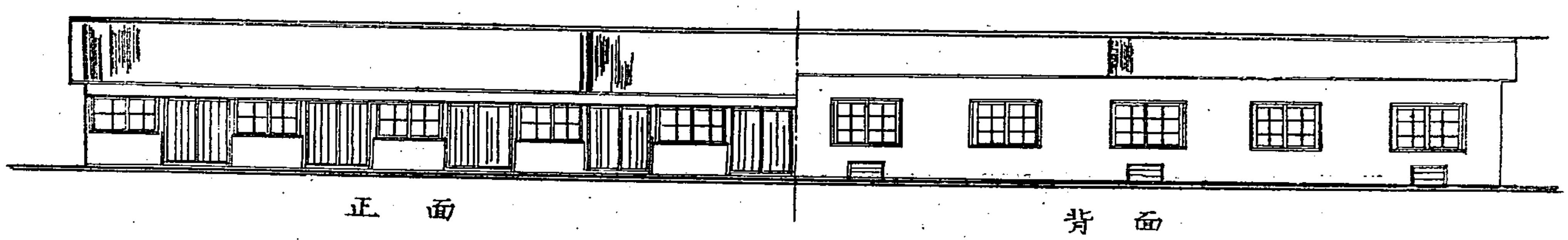


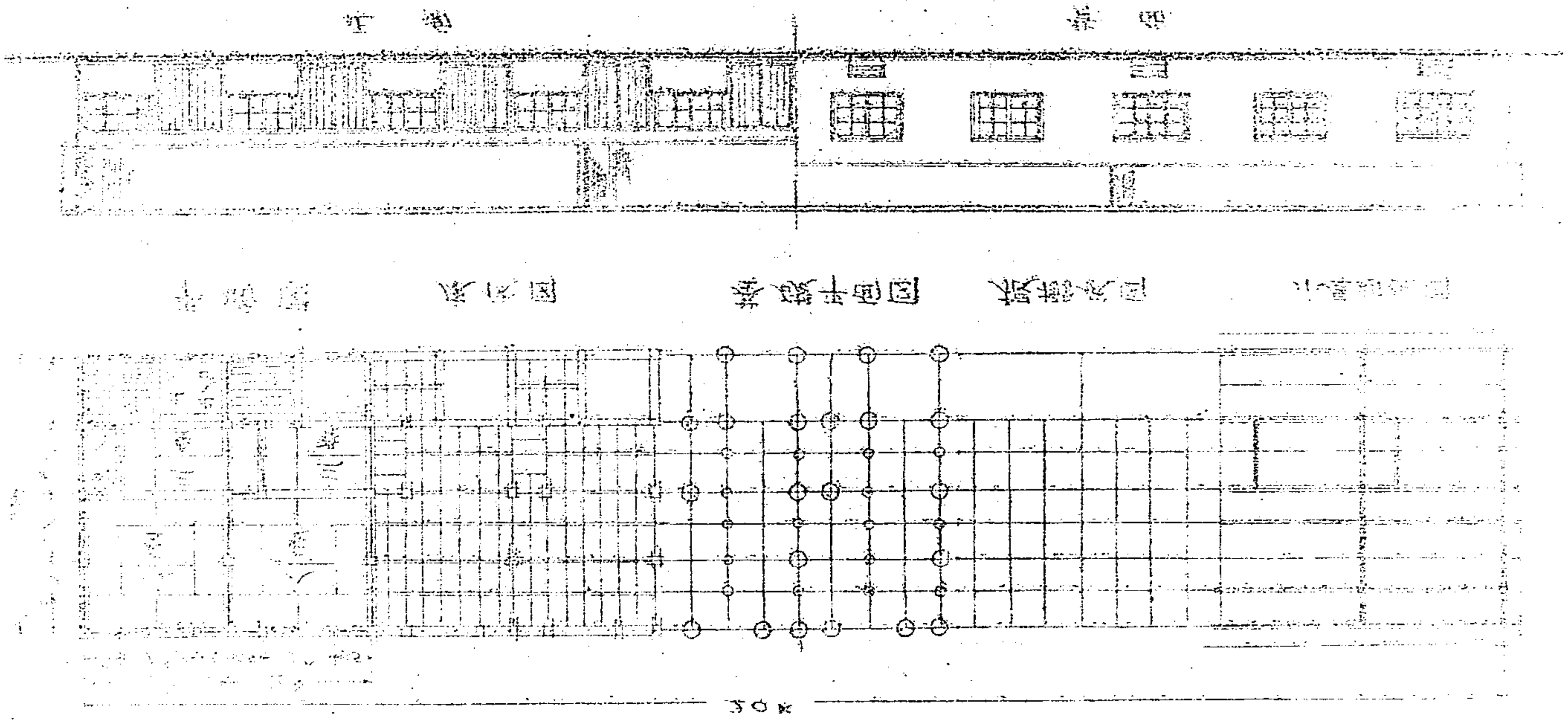




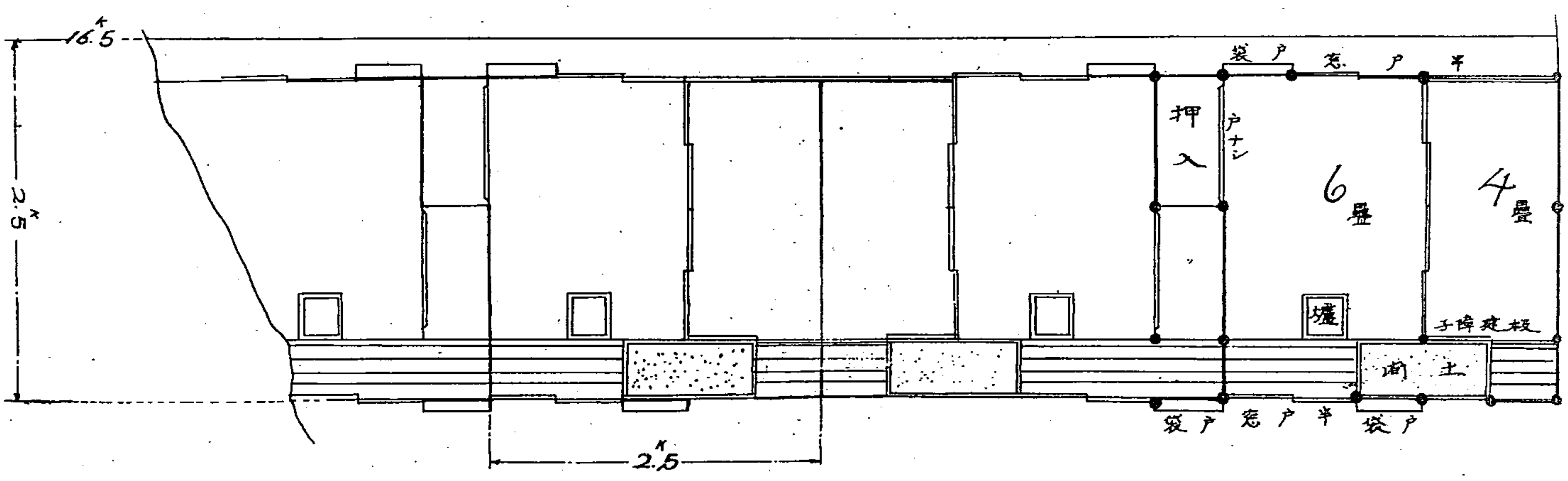
(建戸十)宅社夫鑛礦炭鄉内



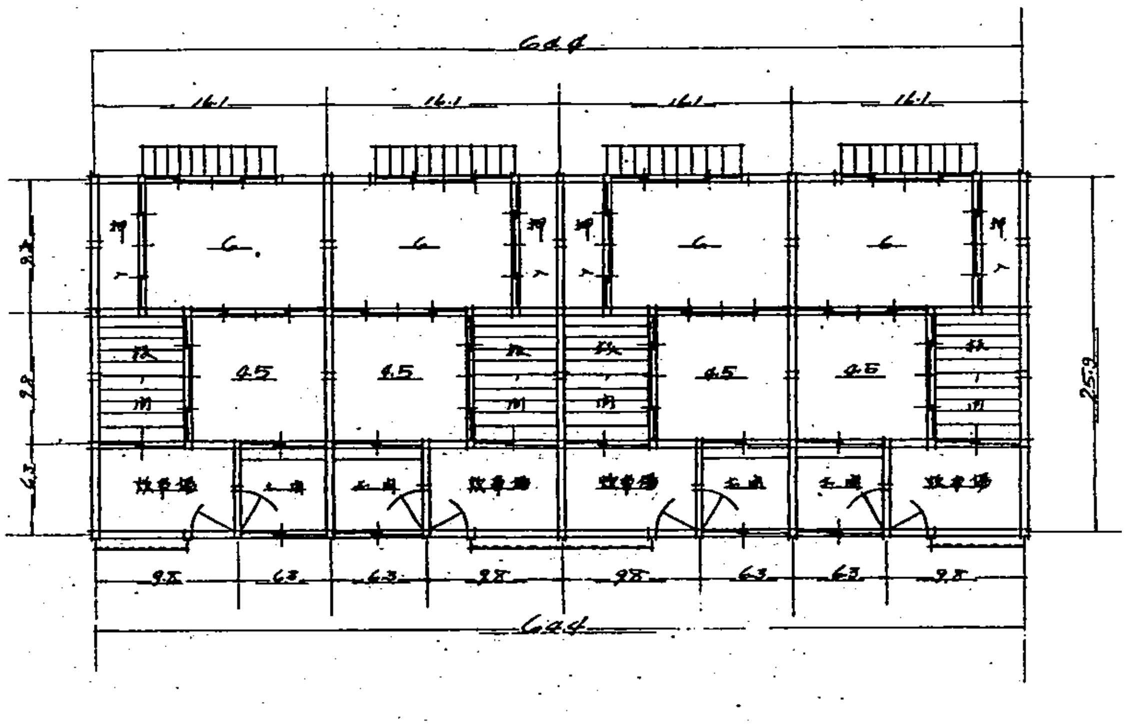


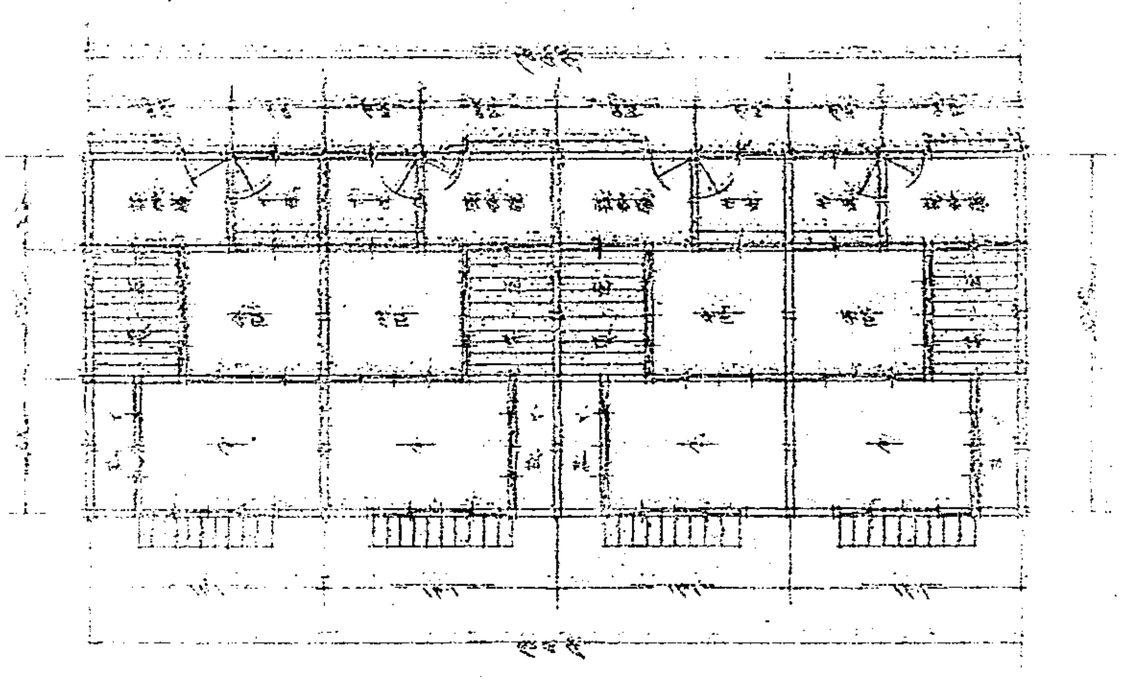


大倉無煙炭礦鑛夫社宅(六戸建)

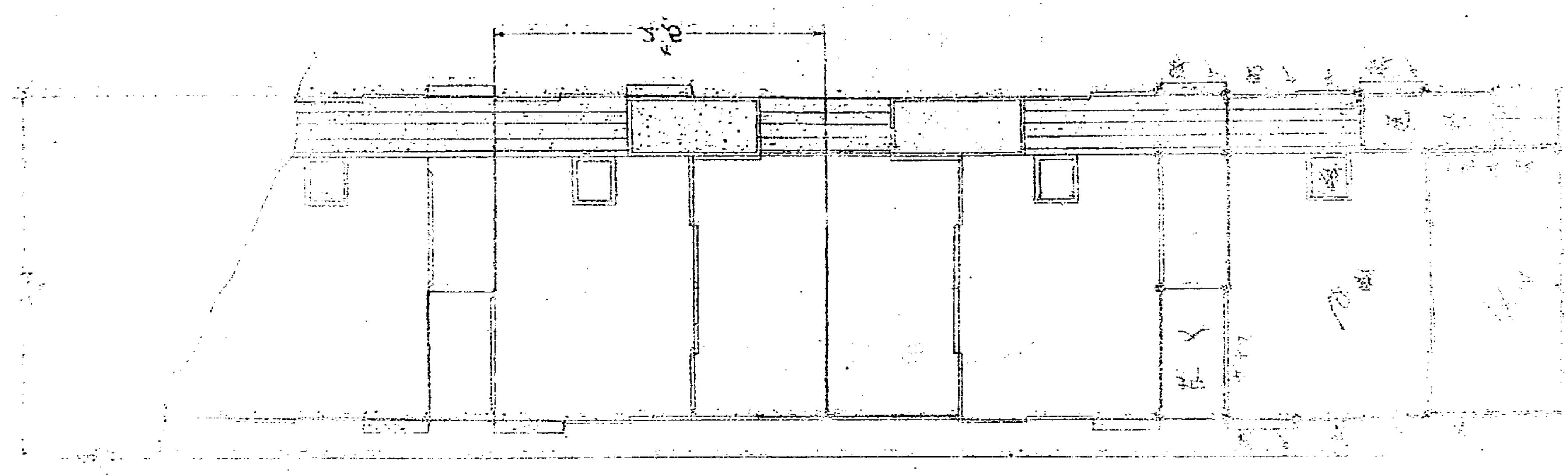


二瀬炭礦鑛夫住宅改正意見圖(四戸建)



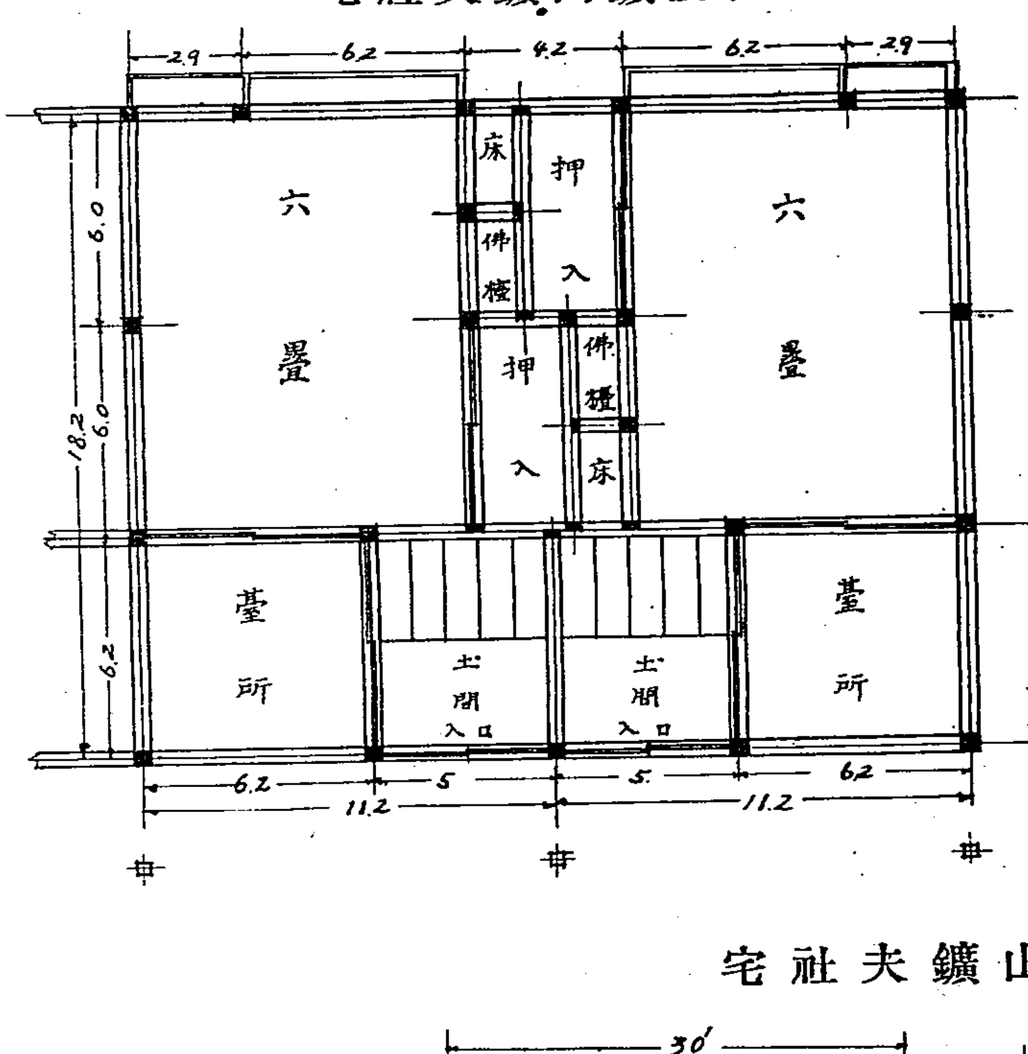


二瀬炭鑛鑛夫社宅改正設計圖

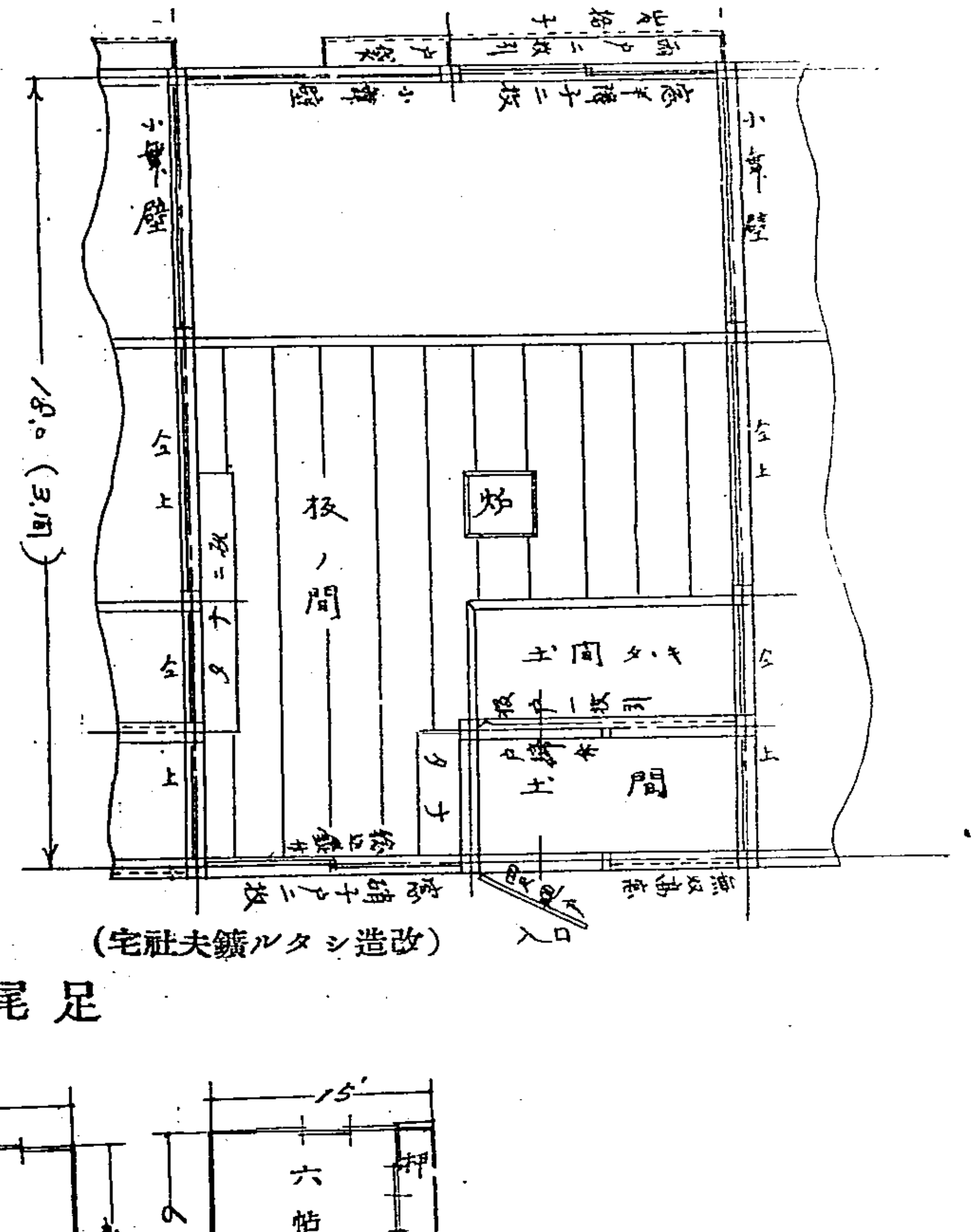


大倉鑛業炭鑛鑛夫社宅

佐渡鑛山鑛夫社宅

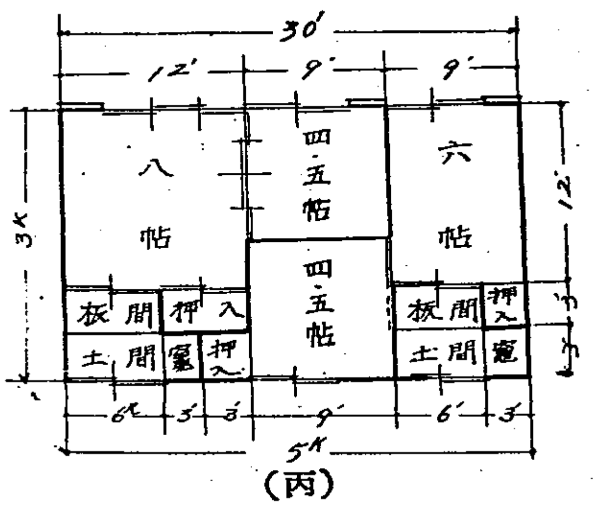


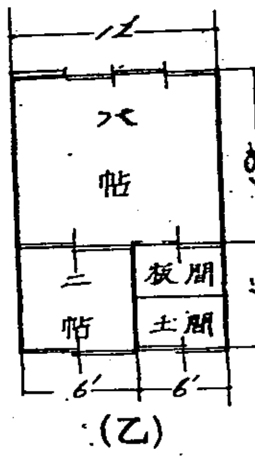
高玉鑛山鑛夫社宅

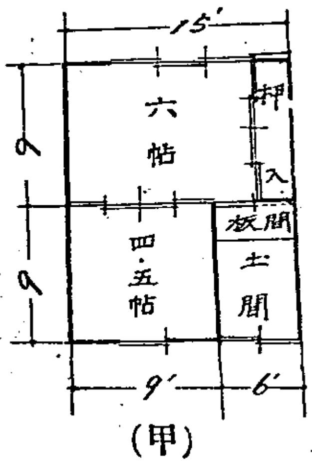


(改造シタル鑛夫社宅)

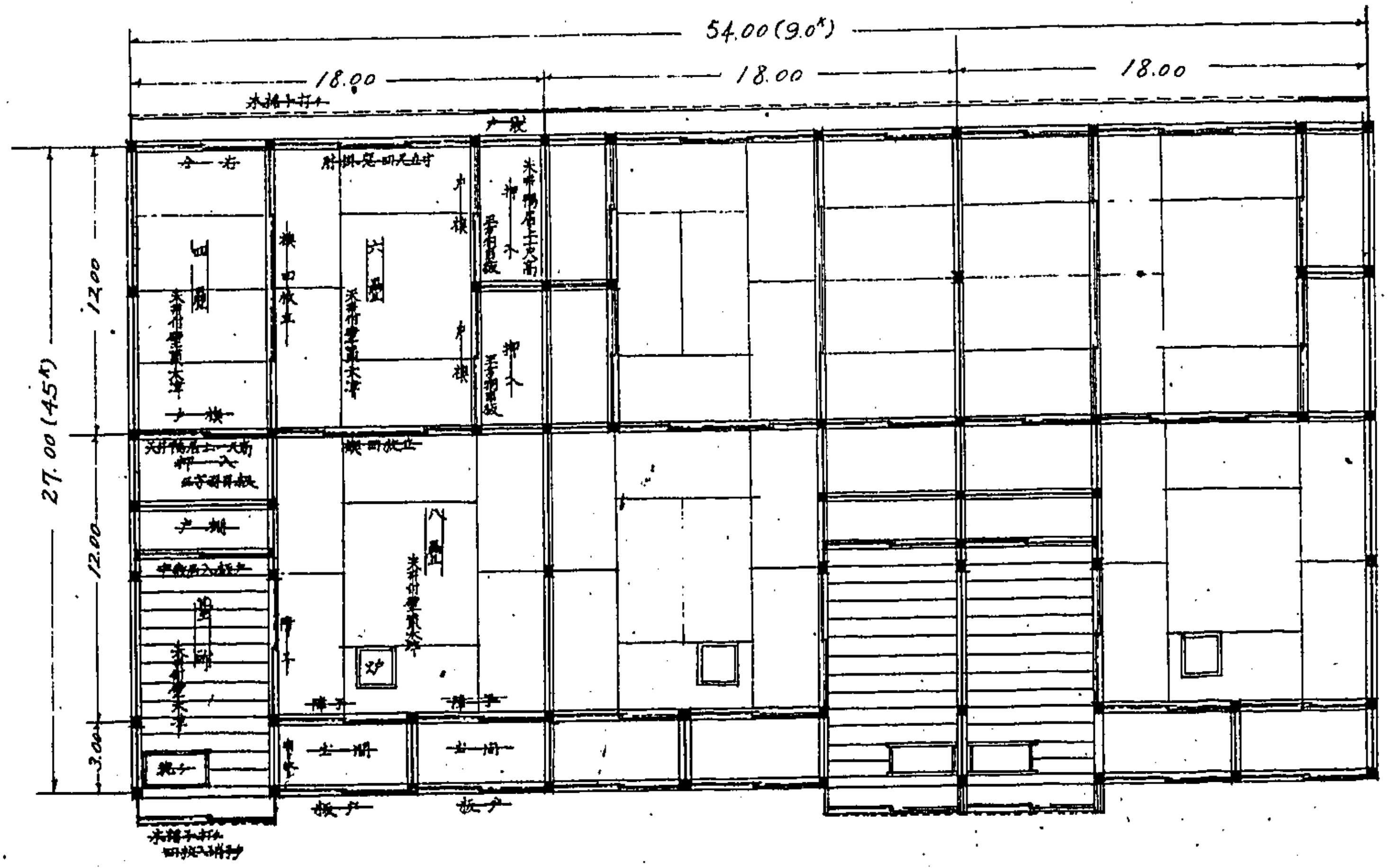
足尾鑛山鑛夫社宅





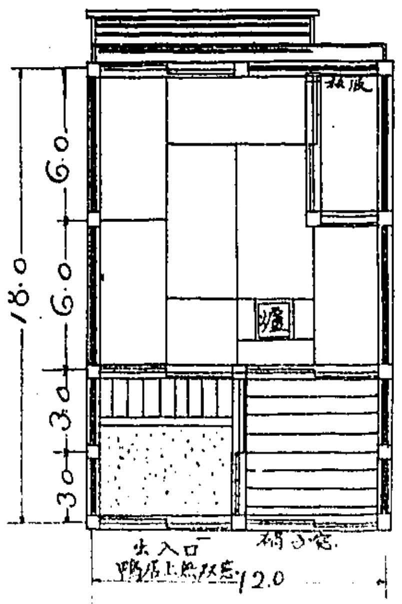


日立鑛山三戸建職頭社宅

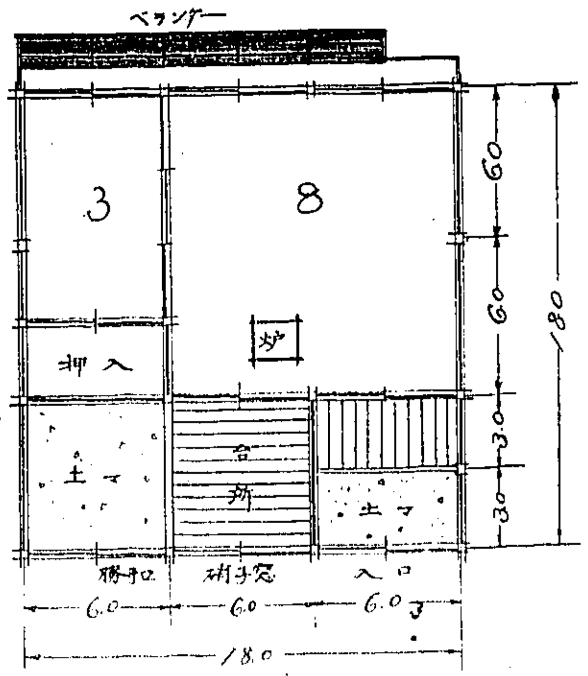


日立鑛山鑛夫社宅

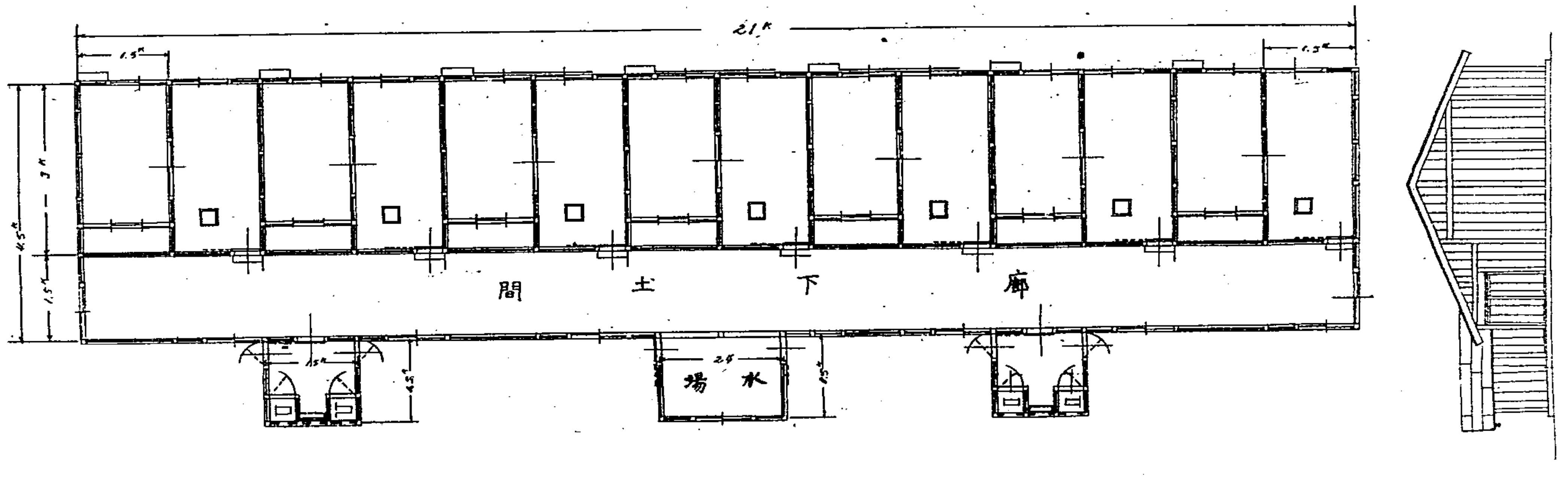
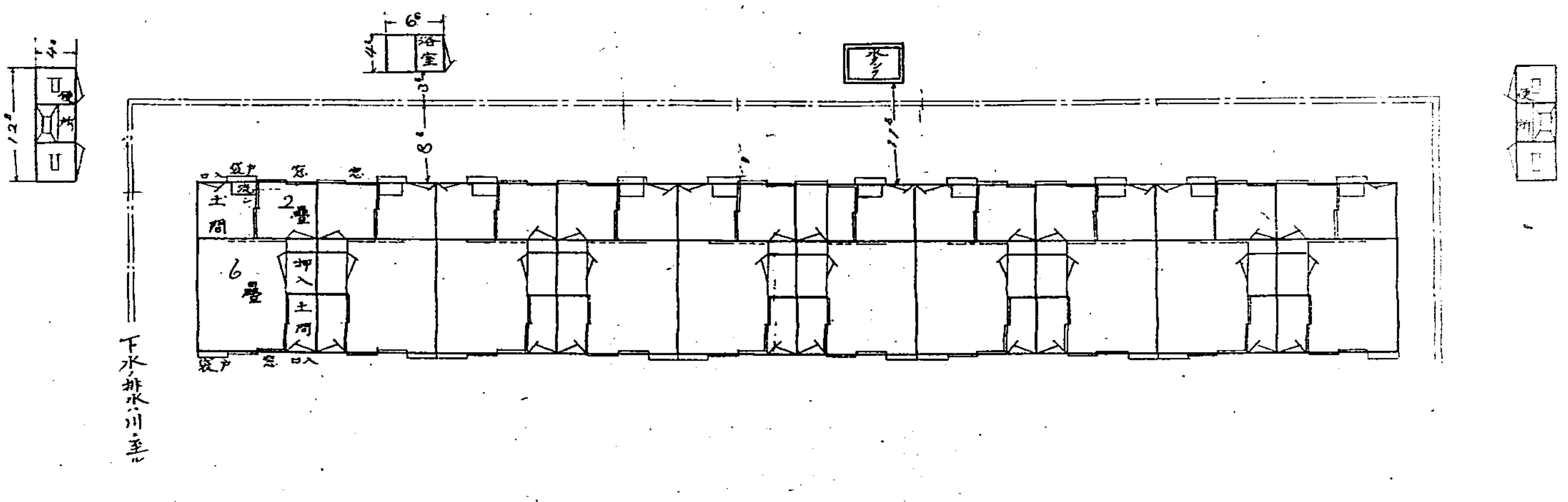
(乙)



(甲)



神岡鑛山鑛夫社宅(七戸建)



吉岡鑛山鑛夫社宅(十戸建)